

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	20600	環境中ダイオキシン類調査事業	予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	5	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	23		良質な環境の保全	根拠法令	ダイオキシン類対策特別処置法									
	施策の展開	43		自然環境の保全	戦略事業	209 環境中ダイオキシン類調査事業									
		施策の展開			戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 12 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	ダイオキシン類対策特別処置法では汚染の状況の常時監視が都道府県により義務づけられており、県と連携し旭市内の環境中におけるダイオキシン類の測定を行い、環境基準と比較して安全な環境が確保されていることを確認する。測定時期は県の測定計画で定められ、測定箇所も県と協議して決定する。測定結果については広報等で周知するとともに県に報告し、環境基準を達成していない場合は、県と協議を行い共同で原因調査及び対策を実施する。 【測定箇所】大気：県と協議をして測定箇所を決定（5年間継続して測定）、水質：新川干潟大橋、土壌：中央児童公園		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
廃棄物の焼却施設などから発生するダイオキシン類による健康影響の不安から環境中のダイオキシン類の測定に対する要望が多いことから開始した。	測定開始当初と比べて数値が減少傾向にある。	基準値以内で推移しているため、特に問合せはない。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位: 千円	
1.委託料	1,026	ダイオキシン類調査等委託料	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位: 千円	
1.国庫支出金	0		
2.都道府県支出金	0		
3.地方債	0		
4.その他	0		

事業費	費目内訳	1. 委託料	千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160	

前年度 増減理由	
-------------	--

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	2日	=	延べ	4人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	
事業費	費目内訳	1. 委託料	千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	840	1,015	1,037	1,026	1,160	

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1 人	最大	2 人	×	2 日	=	延べ	4 人
-------	----	-----	----	-----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

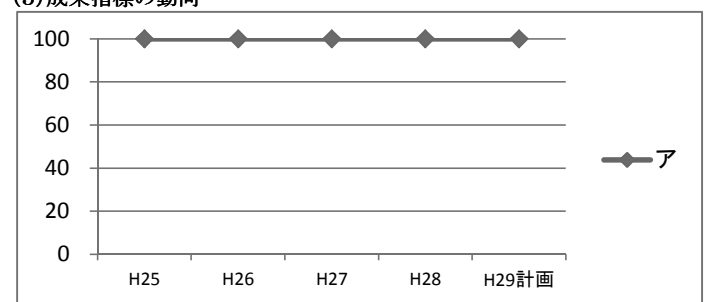
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ダイオキシン類の測定 大気 年2回 2箇所、水質 年1回 1箇所、土壌 年1回 1箇所		ア 大気測定(2箇所)	回	2	2	2	2	2
			イ 水質測定(1箇所)、土壌測定(1箇所)	回	1	1	1	1	1
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象生活環境 意図環境基準に対する状況が把握できる 対象意図		ア 環境基準達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	比較 ア 0.0 イ
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期 例年通り 内容 例年通り 今後の方向性 例年通り ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()